

おきなわ監督署だより 6月号

(平成26年6月23日 沖縄労働基準監督署 発行)

お知らせ 1

平成26年1月～5月までの業種別労働災害発生状況（沖縄労働基準監督署管内）



全体的に減少傾向が続いています。引き続きがんばりましょう。

昨年多発した食料品製造業、建築工事業、社会福祉施設は軒並み減少しています。

全産業の死傷者数は、84件と前年比17.4%の減少となっています。

製造業の増加傾向が鈍化してきました。中でも、食料品製造業は20%減少してきました。

建設業は、前年比41.7%減少し、昨年大幅に増加した建築工事業も昨年同期の20件と比較し9件と半減以上となっています。

第三次産業も全体的には減少傾向にあり、昨年大幅に増加した社会福祉施設は、27.3%減です。駐留軍間接雇用が大幅に増えているのが気になりますが、基地内での交通災害も含まれます。

平成26年4月末（速報値）

50%以上減 ■

50%以上増 ■

100%以上増 ■

	平成26年	平成25年	増減の状況 (対前年比)	
	死傷(死亡)	死傷(死亡)	死傷者数	増減率(%)
全産業	84(1)	92(1)	-8	-17.4
製造業	13	12	1	8.3
食料品製造業	8	10	-2	-20
建設業	14(1)	24(1)	-10	-41.7
土木工事業	2(1)	4	-2	-50
建築工事業	9	20(1)	-11	-55
その他の建設業	3	0		
運輸業	3	4	-1	
陸上貨物運送業	2	4	-2	-50
第三次産業 (運輸を除く)	54	50	-4	-8
商業	10	11	-1	-9.1
接客娯楽業	6	8	-2	-22.
保健衛生業	14	12	2	16.7
社会福祉施設	8	11	-3	-27.3
ビルメンテナンス業	4	7	-3	-42.9
その他の業種	20	12	8	66.7
警備業	2	1	1	100
駐留軍間接雇用	8	3	5	166.7

沖縄中部地区・建築工事ゼロ災運動推進大会を開催しました。

平成 25 年に労働災害が多発した建築工事業について、沖縄監督署は、
「[沖縄中部地区・建築工事ゼロ災運動実施要綱](#)」 [← クリック](#)
を策定し、この要綱にもとづいた取組を行うこととしていましたが、取組をスタートするにあたり、管内の建築関連事業者の皆様との要綱の趣旨の確認とゼロ災に向けた決意を新たにする目的でこの5月27日（火） 沖縄市農民研修センター においてゼロ災運動推進大会を開催しました。
当日は、管内の主要会社を含む93社、133名の出席をいただきました。

- 内容
1. 黙とう
 2. 監督署長あいさつ
 3. 労働災害発生状況説明（沖縄監督署・安全衛生課長）
 4. ゼロ災運動実施要綱の説明（同）
 5. 移動式クレーン転倒災害撲滅運動（（一社）日本クレーン協会沖縄県支部事務局長）
 6. 現場の安全点検について（建災防安全指導員）
 7. 作業所における安全活動の取組
(株式会社竹中工務店イオンモール北中城安全担当者)
 8. 安全宣言（建災防安全指導員）
 9. 指差唱和（建災防安全指導員）
 10. 閉会のあいさつ（建災防中部分会長）



会場を埋め尽くした管内の建築工事関連の皆さん



沖縄監督署の安全衛生課長は、昨年以降管内で発生した死亡労働災害をはじめとする重篤な労働災害をアニメーションなどを取り入れて説明しました。

災害事例 [←クリック](#)

「建築工事これだけチェック」 [← クリック](#)



建災防中部分会安全指導員は、現場パトローロールの結果から、日常的に以下10項目を重点に点検してほしいと熱く語りました。

10の指摘事項

改正労働安全衛生規則にもとづいた足場の墜落防止措置
上記改正規則は内部足場にも適用される。
(ローリングタワー等)

上記改正規則により足場使用前に点検し記録を残す。

積載荷重の表示義務

特定自主検査の未実施

丸のご盤の歯の接触予防装置の不備

研削といし取替等業務の特別教育修了証
型枠支保工(パイプサポート)の適正な支持ピンの使用

ユニック等の過巻防止装置機能の確認

屋外でのアーク溶接作業時の防じんマスク着用の徹底



管内、いや県内でも最大規模の建築工事を施工中の株式会社竹中工務店(仮称)イオンモール沖縄北中城作業所の安全担当者から、現場での日常的な安全活動の取組を発表していただきました。

ご厚意により、当日のプレゼンテーション資料を公開します。

資料

「作業所における安全活動の取組」 [← クリック](#)

平成26年度 中部地区安全管理推進大会が開催されました。

毎年、安全週間（7月1日～7日）の準備期間である6月に開催されている
中部地区安全管理推進大会
が、この6月10日（火）、沖縄県工業技術センターで、管内の事業場から150名が参加して
盛大に開催されました。

冒頭、沖縄監督署長は、平成26年度沖縄労働局の運営方針と沖縄監督署の安全衛生関係の重
点的な取組を説明しました。

また同署安全衛生課長は、労働災害発生状況を踏まえた安全週間の趣旨説明を行いました。

特別講演として、沖縄気象台防災情報管理係長から「沖縄の自然災害」のテーマで沖縄の自然
災害事例についての講演をいただきました。

安全の誓い・指差唱和とも管内企業で活躍する女性労働者が担当し、大会を元気づけていた
きました。

- 【共催】 一般社団法人沖縄県労働基準協会中部支部
建設業労働災害防止協会沖縄県支部中部分会
独立行政法人労働者健康福祉機構 沖縄産業保健総合支援センター
- 【後援】 沖縄労働基準監督署



安全週間は、昭和3年以来
一度も中断されることなく
続けられており、今年で
87回
となります。

職場の安全点検も、中断するこ
となく、継続的に行いましょう。



みんなでつなぎ

高まる意識

達成しようゼロ災害

ヨッシ！！

バックヤードにおける荷卸・運搬作業時の 労働災害防止セミナーを開催しました。

沖縄監督署は那覇監督署と合同で管内の陸上貨物運送事業者と卸・小売業者を対象に表記のセミナーを開催したところ、94名に参加していただきました。

日時 平成26年6月18日（水）14:00～

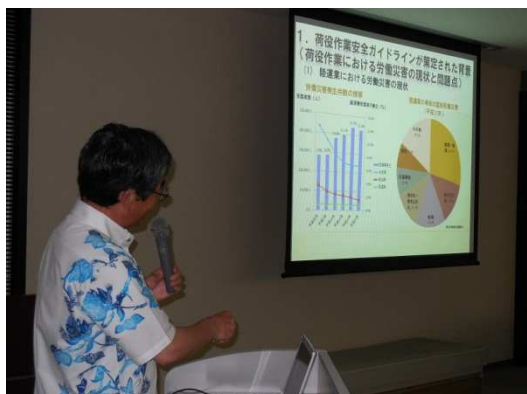
場所 那覇第2地方合同庁舎1号館2階

内容 1. 県内の陸上貨物運送事業。卸小売業における労働災害発生状況
沖縄監督署安全衛生課 労働基準監督官
2. バックヤードなどにおける荷卸・運搬作業時の労働災害防止対策
陸上貨物運送事業労働災害防止協会
安全管理士



沖縄監督書の安全衛生課監督官は、災害発生状況・よくあるヒヤリハットについて説明しました。

配布資料は[こちら](#)をクリック。



陸災防本部の安全管理士から、荷役作業安全ガイドラインが策定された背景
沖縄の労働災害データ
ロールボックスパレット等が関与した死傷災害の特徴について
を詳しく説明していただきました。

～ 社会福祉施設のための～

「職場の安全・腰痛予防」を中心とした労務管理セミナーを開催します。

沖縄監督署管内では、昨年社会福祉施設における労働災害が31件と前年の15件を大幅に上回りました。

これら労働災害の何と6割が「腰痛」です。

このことから、沖縄監督署は、「沖縄労働局が委嘱をしている専門の腰痛アドバイザー」をお招きして、下記によりセミナーを開催します。事業主及び安全衛生担当者の参加をお待ちしております。

記

日 時 平成26年6月30日（月） 午後2時～4時

場 所 沖縄県工業技術センター（うるま市州崎12-2）

- 内 容
- ① 腰痛アドバイザーによる腰痛予防セミナー
 - ② 労働災害発生状況
 - ③ 社会福祉施設における安全衛生管理について（4S活動など）
 - ④ 社会福祉施設における労働条件の確保について



沖縄労働基準監督署

〒904-0003 沖縄市住吉1-23-11 沖縄労働総合庁舎3 (098) 982-1263

賃金・解雇・年休・サービス残業・過重労働・パワーハラスメントなどの

労働相談は、**沖縄総合労働相談コーナー** へ (098) 982-1400